

令和3年度 保護者アンケートの集計報告について

3学期が始まり、1週間が経ちました。新しい年のめあてをもち、新たな希望に胸ふくらませた子供たちの姿が教室に戻ってきました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、保護者アンケートの集計が終わりましたので、以下のとおり報告いたします。

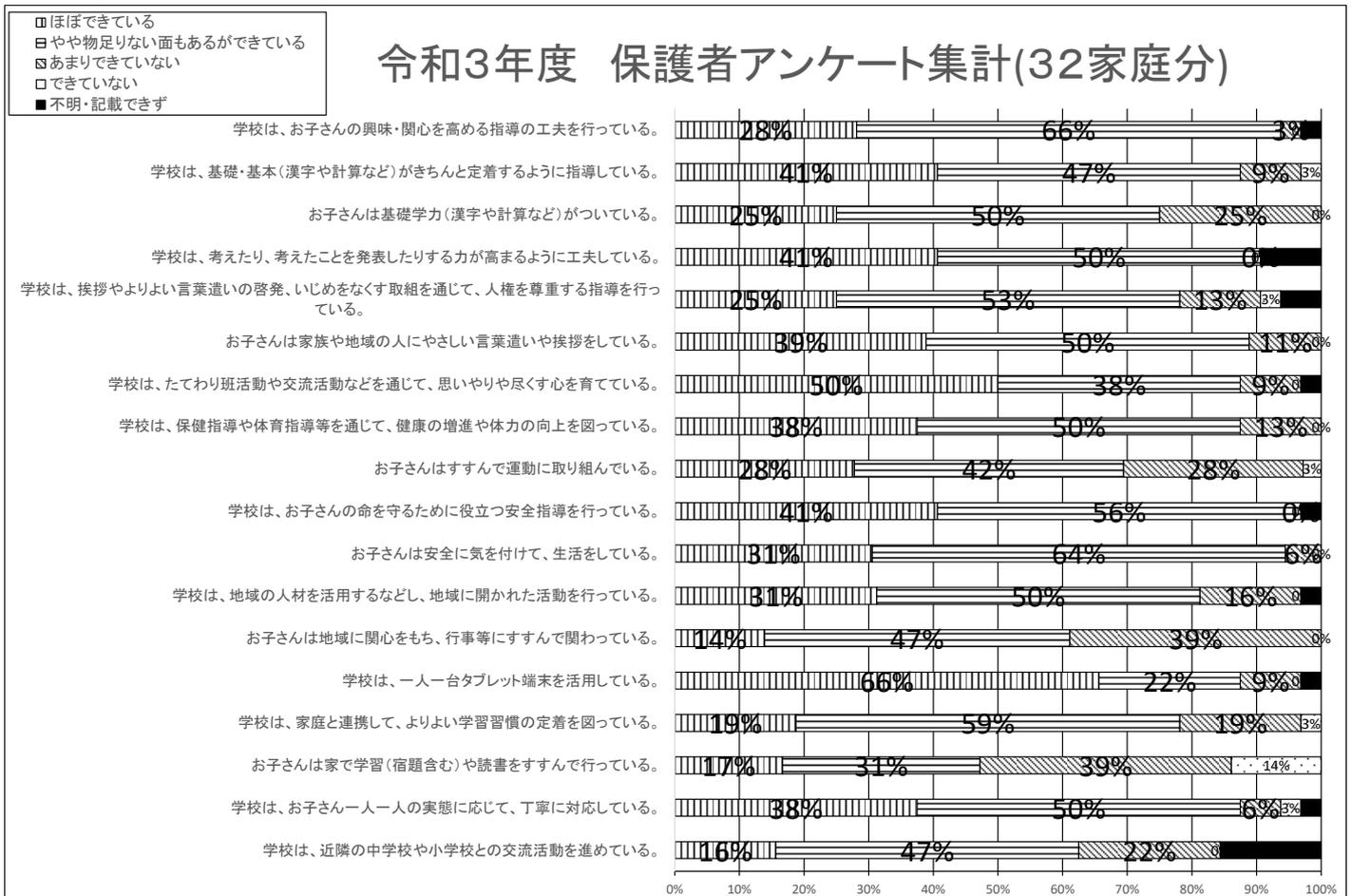
保護者の皆様には、ご多用のところ、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。また、同時期に児童アンケートを実施しました。保護者アンケートと児童アンケートの集計結果を参考に学校の教育活動について自己評価を行い、新年度の教育活動の改善を図ってまいります。

記

1 保護者アンケート（今年度よりWEB上にて回答する形式に変更）

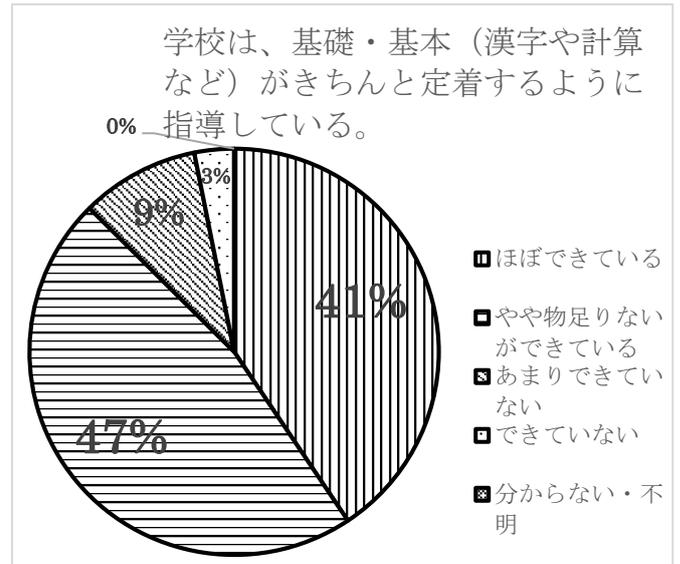
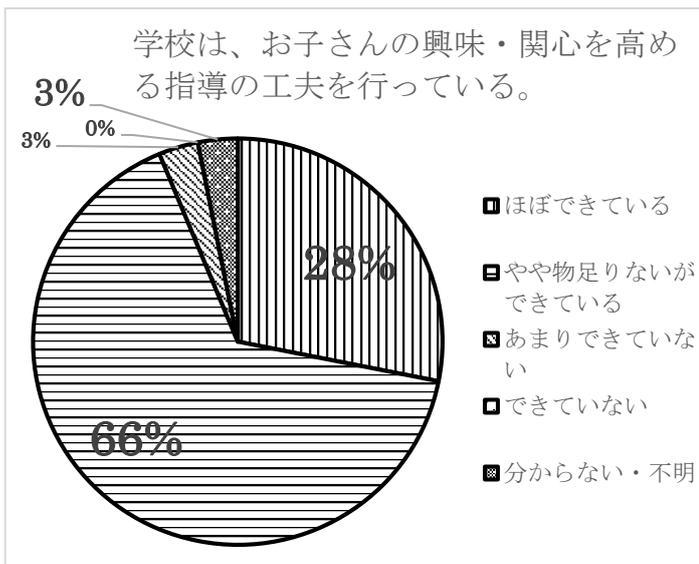
- (1) 回収期間 12月1日（水）から12月12日（日）まで
- (2) 回収率 学校に対するアンケート 32通 回収率68%
お子さんに対するアンケート 36通 回収率64%

(3) 集計結果



(4) 分析

分析の都合上、「ほぼできている」と「やや物足りないができています」を併せて肯定的評価、「あまりできていない」と「できていない」を併せて否定的評価として表記します。

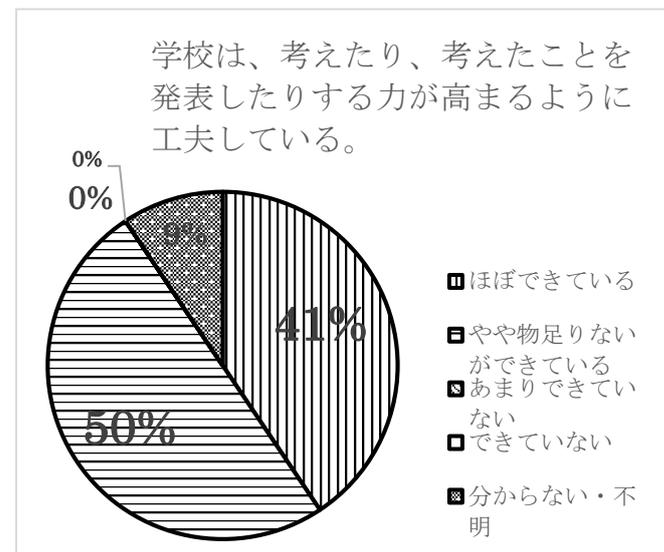
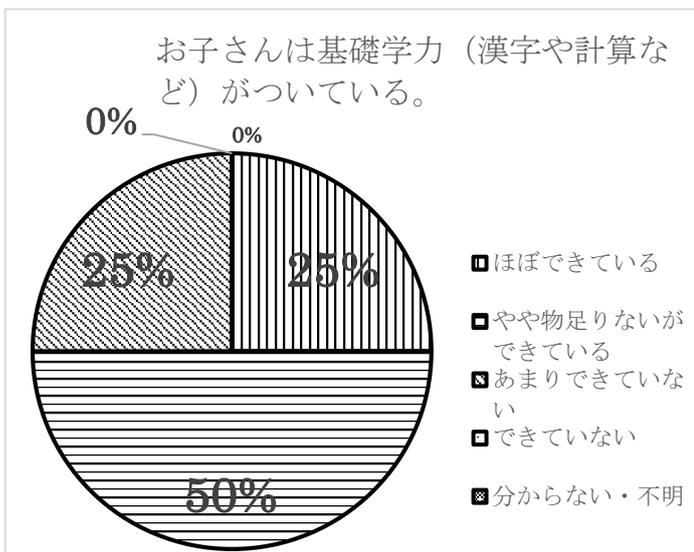


○肯定的評価 94%
△否定的評価 3% 不明3%

多くの肯定的評価をいただきました。あらためて、今の子供たちの実態やこれから子供たちに必要な力を見据えて、興味関心に繋がる主体性を伸ばす指導の工夫・改善を図ります。

○肯定的評価 88%
△否定的評価 12%

90%近い肯定的評価をいただきました。一人一人の子供たちの実態に応じた、個別最適な指導を今後も進め、基礎基本の確実な定着を目指して参ります。



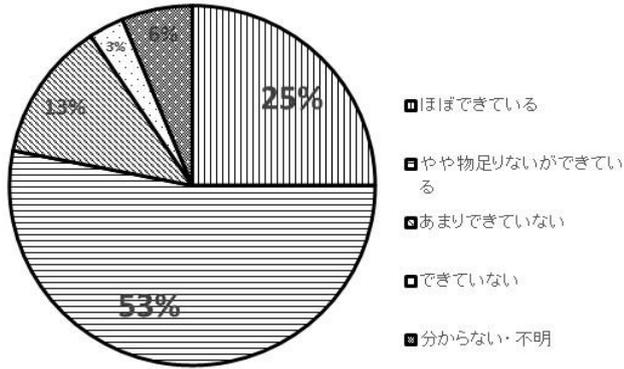
○肯定的評価 75%
△否定的評価 25%

約4分の1の方が、「あまりついていない」と回答されています。問題解決的な授業を行いつつ、同時に基礎学力も定着する指導の工夫・改善やICTの活用を進めて参ります。

○肯定的評価 91%
△否定的評価 0% 不明9%

多くの肯定的評価をいただきました。授業研究等を通じ、問題解決型の授業展開を積極的に行っている成果だと考えます。今後も持続できるよう、さらに工夫・改善を図ります。

学校は、挨拶やよりよい言葉遣いの啓発、いじめをなくす取組を通じて、人権を尊重する指導を行っている。

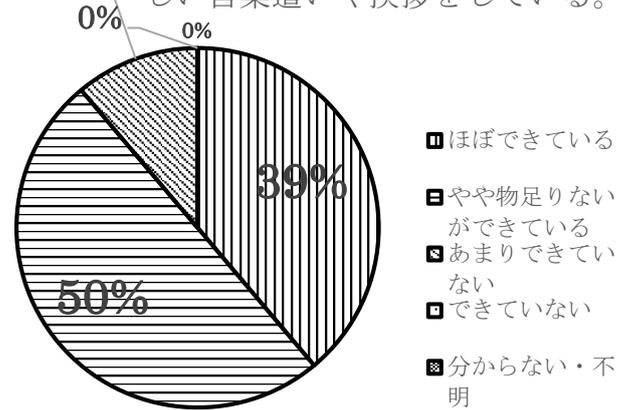


○肯定的評価 78%

△否定的評価 16% 不明6%

挨拶については、日常的な指導を行っています。言葉遣いやいじめ防止については、保護者の方とも積極的に連携しながら、学校・家庭・地域が一体となった指導を進めて参ります。

11% お子さんは家族や地域の人にやさしい言葉遣いや挨拶をしている。



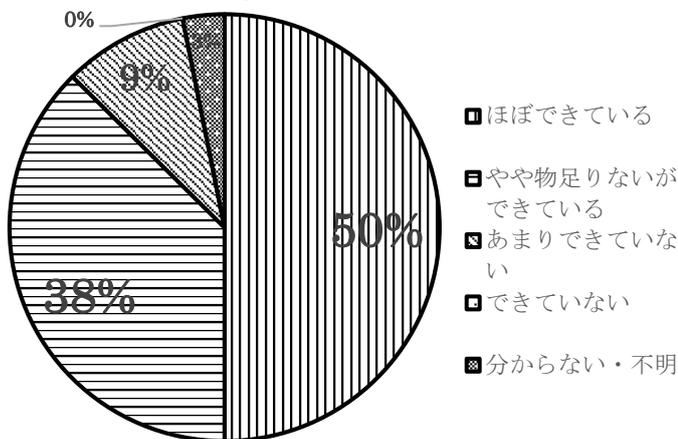
○肯定的評価 89%

△否定的評価 11%

同左

学校では定期的に児童会を中心に「あいさつ運動」を行っています。今後、保護者・地域の方と連携した活動も考えていきます。

学校は、たてわり班活動や交流活動などを通じて、思いやりや尽くす心を育てている。

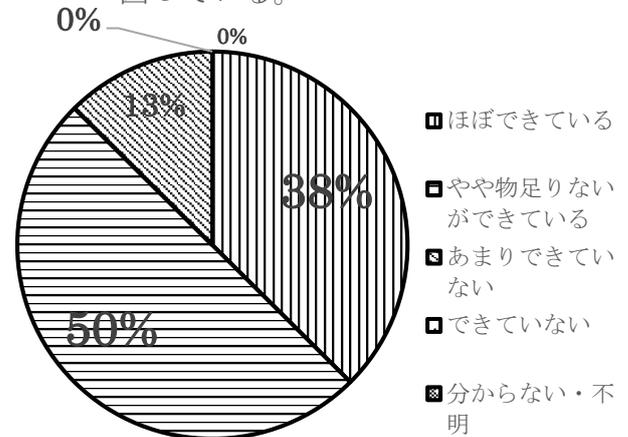


○肯定的評価 88%

△否定的評価 9% 不明3%

たてわり班活動や給食・掃除などの交流活動は本校の大きな特色の一つです。今年度もコロナ禍で制限せざるを得ない状況でしたが、その中でできることを工夫して行った結果が、90%近い肯定的評価につながったと考えます。

学校は、保健指導や体育指導等を通じて、健康の増進や体力の向上を図っている。

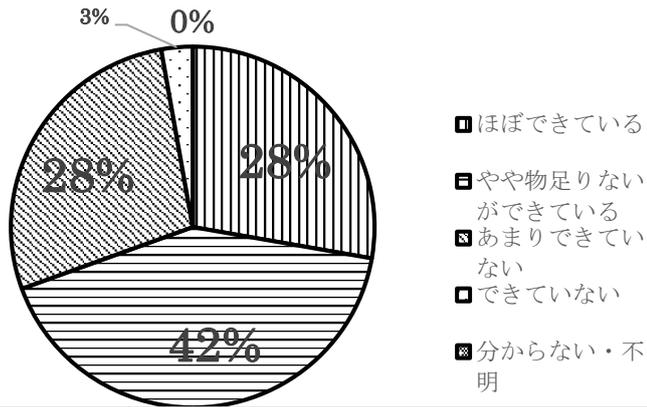


○肯定的評価 88%

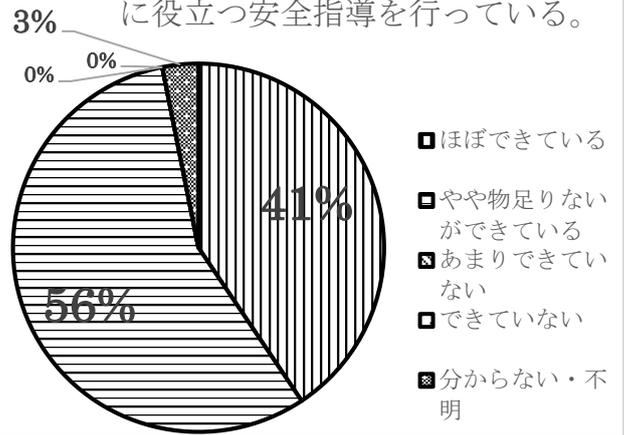
△否定的評価 13%

体力向上についてもコロナ禍の影響が少なからずあると考えます。また、子供たちの習慣や周りの環境など、身体を動かす機会が減っていることも影響していると考えます。※次項「お子さんは進んで運動に取り組んでいる。」に続く。

お子さんはすすんで運動に取り組んでいる。



学校は、お子さんの命を守るために役立つ安全指導を行っている。



○肯定的評価 70%

△否定的評価 31%

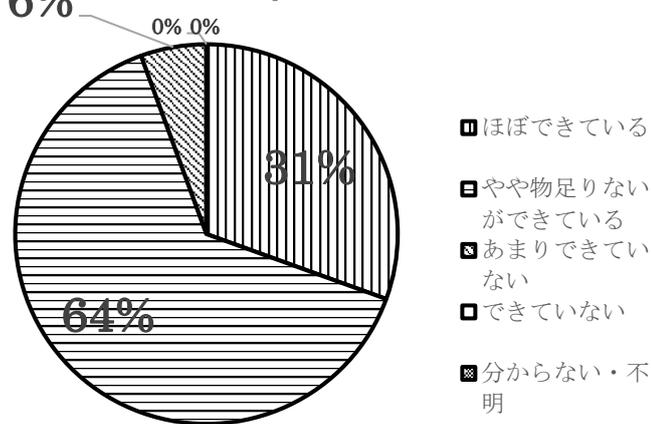
(前項からの続き) しばらくこの状況が続く場合も考慮し、来年度以降、日常的な体力向上に子供たちが取り組めるサーキットトレーニングの活用に加え、例えば「体力カード」を作成するなど、更なる工夫をしたいと考えています。

○肯定的評価 97%

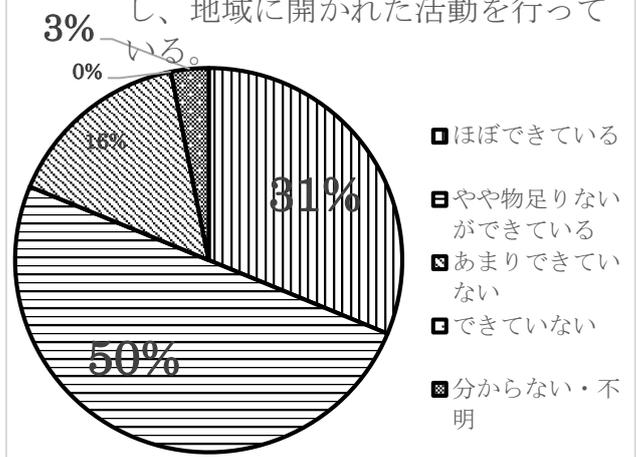
△否定的評価 0% 不明3%

ほぼ 100%に近い肯定的評価をいただきました。安全指導については、土砂災害など地域的な災害に対応したものや、メディアリテラシーに対応したものなど、幅広く指導を続けて参ります。

お子さんは安全に気を付けて、生活をしている。



学校は地域の人材を活用するなどし、地域に開かれた活動を行っている。



○肯定的評価 95%

△否定的評価 6%

多くの肯定的評価をいただきました。学校のみならず、帰宅してからの放課後や家庭でも、安全に気を付けた生活をするように、指導を継続して参ります。

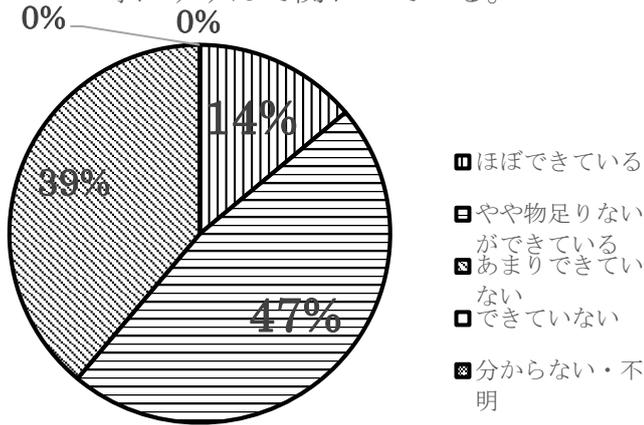
○肯定的評価 81%

△否定的評価 16% 不明3%

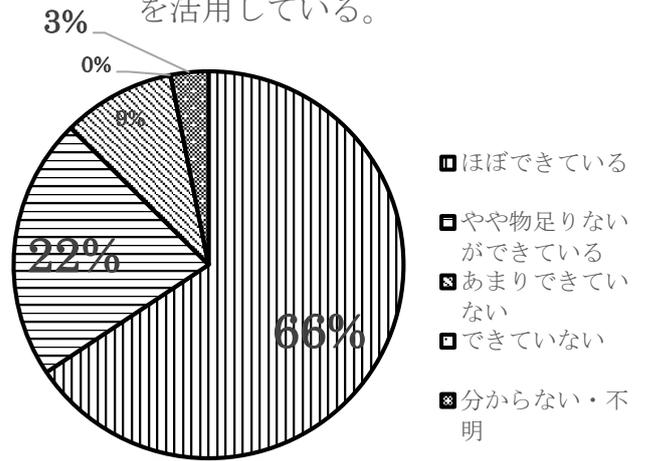
来年度、本校は青梅市教育委員会から市内で2番目のコミュニティ・スクールに指定される予定です。学校運営協議会の皆様とも話し合いながら、地域人材の活用や地域に開かれた活動を継続し、可能な範囲で発展させていきます。

また、保護者との連携した活動も、持続可能なものとなるよう PTA 役員の方と相談しながら進めて参ります。

お子さんは地域に関心をもち、行事等にすすんで関わっている。



学校は、一人一台タブレット端末を活用している。



○肯定的評価 61%

△否定的評価 39%

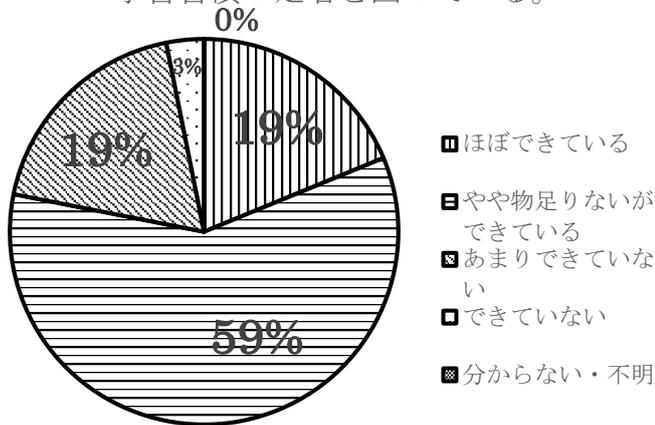
コロナ禍で、地域行事そのものが中止や延期になったことが大きいと考えています。また、家族構成や地域性が変化してきていることも、影響しているのではと考えています。

○肯定的評価 88%

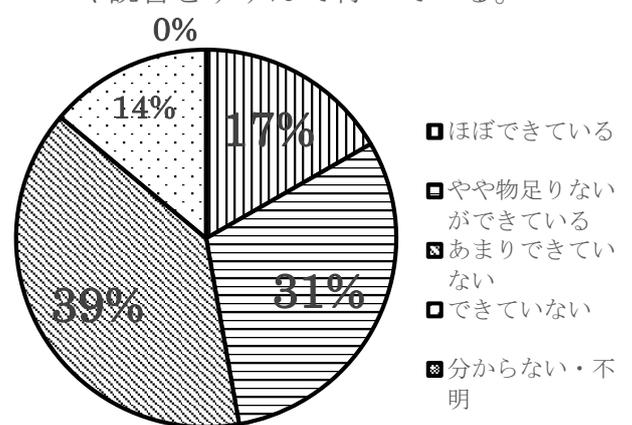
△否定的評価 9% 不明3%

今年度からのアンケート項目です。90%近くの肯定的評価でした。一人一台の活用は始まったばかりですが、小規模校のメリットを生かして、今後も積極的に活用して参ります。

学校は、家庭と連携して、よりよい学習習慣の定着を図っている。



お子さんは家で学習（宿題含む）や読書をすすんで行っている。



○肯定的評価 78%

△否定的評価 22%

家庭学習の定着は、学校と家庭の協力が必須です。家庭での学習について様々な価値観がある中、個に応じて無理なく進められる習慣化を今後も進めて参ります。また、タブレット端末も積極的に活用して参ります。

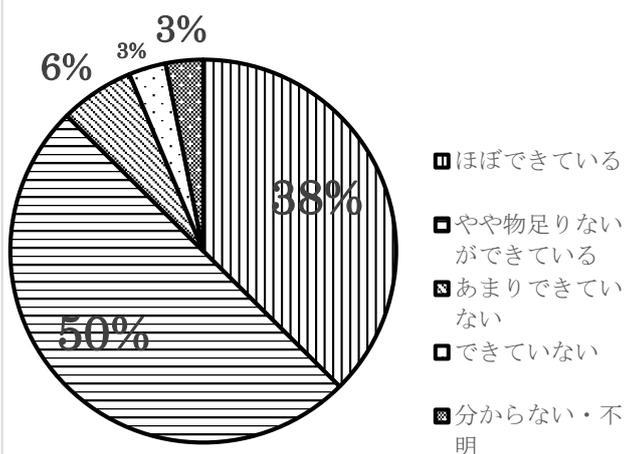
○肯定的評価 48% (97%)

△否定的評価 53% (3%)

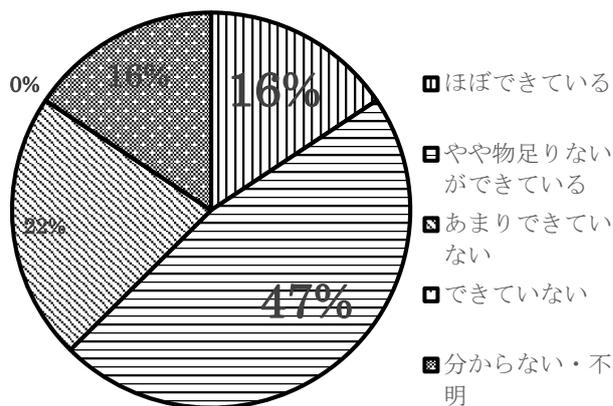
同左

また、読書については、学校図書館や学校司書をさらに活用し、子供たちに読書の良さ・楽しさを知ってもらい、意欲に繋げて参ります。

学校は、お子さん一人一人の実態に応じて、丁寧に対応している。



学校は、近隣の中学校や小学校との交流活動を進めている。



○肯定的評価 88%

△否定的評価 9% 不明3%

90%近い肯定的評価をいただきました。しかし、この項目については100%を目指して努力していくことだと考えています。

引き続き、教職員の子供たちの特性をみとる力の向上と、ご家庭との子供ファーストの連携・協力を進めて参ります。

○肯定的評価 63%

△否定的評価 22% 不明16%

他校（成木小・六中）との交流は本校の特色ある教育活動の一つです、やはりコロナ禍のため、十分に実施できませんでした。ただし、オンラインでの交流や分散しての実施など、新たな工夫も行えたので、今後の状況を見ながら、可能な範囲で継続して参ります。

また、成木小・六中だけでなく、他地域の学校とも交流できないか、検討していきます。

(5) 要望・意見

要望・意見の欄にいくつかのお声をいただきました。紙面の都合上、全文ではなく、要約させていただいたものを掲載させていただきました。いただいたご意見を参考にさせていただき、新年度以降の教育活動に活かしていきます。

- ・保護者会より個人面談などで対応して欲しい。
- ・今回の運動会や学芸会、その他行事等も含め、他の学校と同じではなく、人数が少ないからできる活動や、他の学校が真似をしたくなる様な活動を積極的に行なって欲しい。

(6) その他

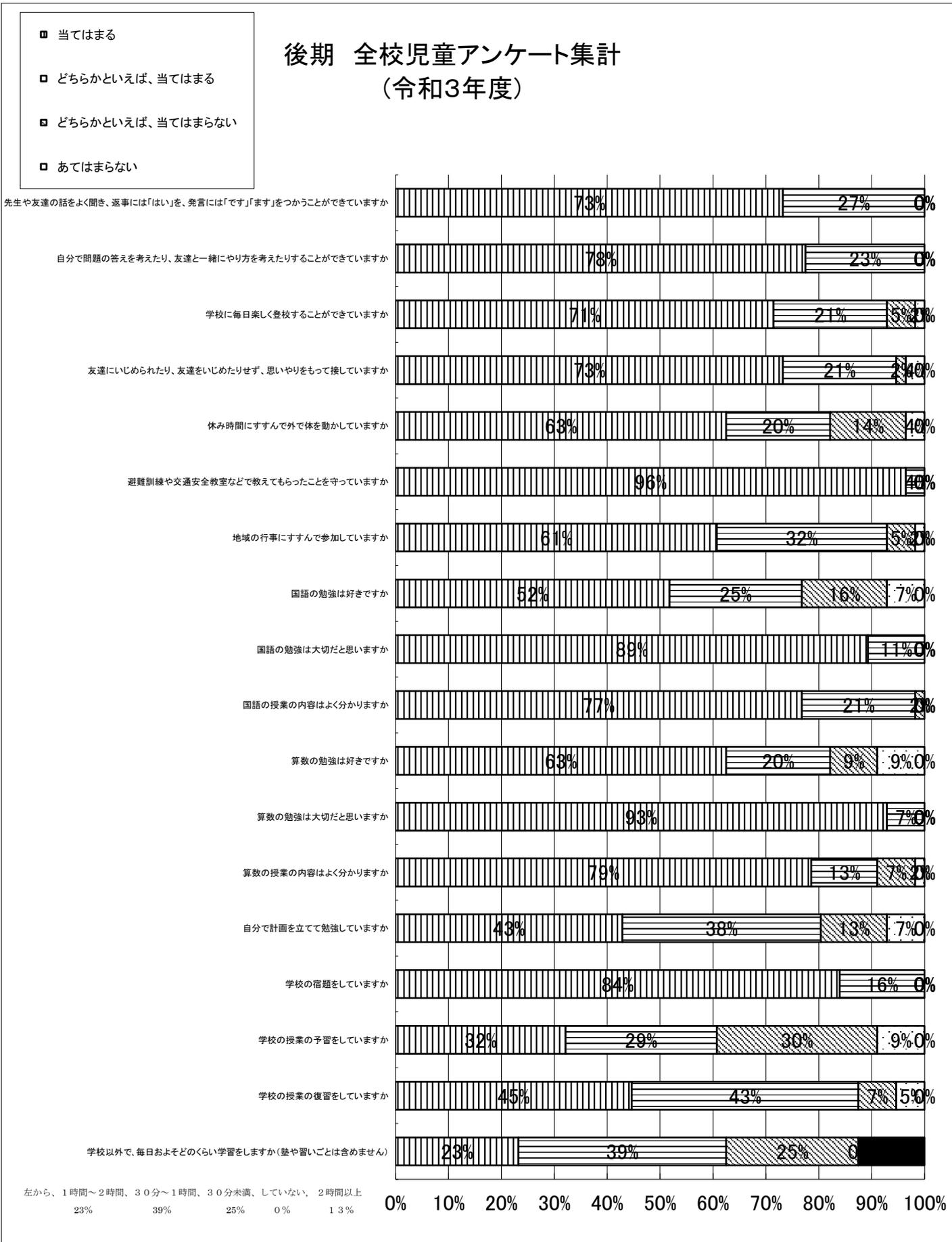
今年度、児童アンケート、保護者アンケート共に、WEB上にて回答する形に変更させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。次年度以降も、WEB上にて回答する形を継続していきます。アンケートへの回答のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

2 全校児童アンケート集計結果（今年度よりWEB上にて回答する形式に変更）

(1) 回収期間 11月24日（水）から12月1日（水）まで

(2) 回収率 100%（56通）

(3) 集計結果



(4) 所見

■評価の高かった項目（肯定的評価が95%以上のもの）■

- ・国語の勉強は大切だと思いますか。 ・国語の授業の内容はよく分かりますか。
- ・算数の勉強は大切だと思いますか。
- ・学校の宿題をしていますか。
- ・避難訓練や交通安全教室などで教えてもらったことを守っていますか。
- ・先生や友達の話をよく聞き、返事には「はい」を、発言には「です」「ます」をつかうことができているですか。
- ・自分で問題の答えを考えたり、友達と一緒にやり方を考えたりすることができていますか。

→ 前期の結果と、ほぼ同様の結果となりました。しかし、国語や算数の勉強が大切だという意識は高いものの、「国語の勉強は好きですか」は80%→77%、「算数の勉強は好きですか」は86%→83%、「算数の授業の内容はよく分かりますか」は97%→91%と若干の減少傾向が見られました。これらの項目については、引き続き校内研究を中心に、授業の改善が図れるよう、努めてまいります。

なお、「学校の宿題をしていますか」の項目については、児童の肯定的評価は高いものの、保護者の評価は低いという乖離現象が起きています。宿題のやり方など、ぜひ一度ご家庭での話題にさせていただけたらと思います。

■昨年度との比較で変化のあった項目のその後■（昨年→前期→後期）

- ・地域の行事にすすんで参加していますか。 （73→91→93%）
- ・自分で計画を立てて勉強していますか。 （65→80→81%）
- ・学校の授業の予習をしていますか。 （46→76→61%）

→ コロナ禍で様々な制限があるものの、昨年度に比べ、地域の行事に参加する割合も、数字からは少しずつ改善していることが伺えます。

また、昨年度まで、低かった「自分で計画を立てて勉強する」児童も、今年度は年間を通して、肯定的な評価をする児童が80%程度でした。さらなる向上が望まれます。

なお、「学校の授業の予習をしていますか」については、前期よりも15%も数値が減少しました。一方で、「学校の授業の復習をしていますか」は、85%から88%に微増しています。いずれも、学習に対する「前向きさ」や「積極性」が問われる評価項目です。その中でも、未知のものを自ら切り開いていく「予習」の大切さも、改めて子供たちに伝えていきます。

■数値は上がっているけれど、コロナ禍で心配な項目のその後■（昨年→前期→後期）

- ・学校に毎日楽しく登校することができていますか。 （90→92→92%）
- ・休み時間にすすんで外で体を動かしていますか。 （80→84→83%）

→ コロナ禍で、様々な不安をもって登校しているご家庭、児童もいるかと思えます。上記の2項目について、数値的には、昨年度・今年度の前期・後期ともに、ほぼ横ばいの傾向が見られます。1月中旬に入り、オミクロン株による感染拡大が懸念される中ではありますが、今後も、青梅市のガイドラインに沿いながら、児童が安心して登校することができるように努めます。また、できる範囲の中で、できる限り通常の教育活動が行えるよう努めてまいります。

コロナ禍で、思いっきり外で遊べず、体力の低下を懸念する声は、年度末の校内での会議でも改めて議題に上がりました。今年は、まずは体力の維持を目標に指導してきましたが、今後は、運動の日常化をどのようにしたら図れるかを模索しながらすすめていきます。